

第 1 回グリーンインフラ懇談会での主なご意見等

(連携について)

- ・ 自治体の財源面、人材面をどのように応援するか議論が重要。
- ・ 官だけでなく民、産、学と組み、事業展開への工夫が大切。
- ・ 各省庁の環境データを横断的に利用できるシステムの構築等が重要。
- ・ グリーンインフラ推進には精神性や決意を表明するアプローチも大切。

(コミュニティについて)

- ・ 地域共同体と行政が一体で作り上げるグリーンインフラは非常に有益。
- ・ 市民のコミュニティ形成、仲間づくりに国の支援を検討
- ・ コミュニティによるグリーンインフラの管理運営を後押しする必要。
- ・ ナッジなどの活用、エリアマネジメント活動の動きに乗ることも必要。

(評価について)

- ・ グリーンインフラを社会資本政策の中でどのように評価し、認証、調達、投資需要に繋げるか検討することが重要。
- ・ 主観的な評価も含めウェルビーイングに資する評価も必要。
- ・ 定性的評価を行うことも重要。
- ・ 良い取組に対する認証制度による民間企業の技術開発を推進。

(資金調達について)

- ・ カーボンクレジットの仕組みや環境税、炭素税、森林環境税などから財源確保できないか。グリーンインフラに特化した財源確保手法があってもよい。
- ・ 収益を社会的課題に再投資できる仕組みや、社会的課題に対し柔軟に投資し、横断的な地域サービス供給ができる仕組みが必要。

(その他)

- ・ 社会実装に向けた中期的なロードマップが必要。
- ・ グリーンインフラをシステム、ネットワークとして戦略的に整備。
- ・ 自治体にとって使いやすい効果や用途のデータ提供技術の推進が必要。
- ・ 地域の実情に応じ、グレーインフラとグリーンインフラの連携、分担、補完、代替の在り方の最適解を模索することが大切。
- ・ 既往施策・事業でグリーンインフラに繋がる事例を洗い直す。
- ・ 公共事業でグリーンインフラを積極的に推進することが必要。それに追随し、民間ビジネスにおける市場が拡大できる。
- ・ ウェルビーイングをグリーンインフラにどう構成するかが重要。